

キャリアアップに資する教育訓練計画書（試験・開発作業補助）

化工事業本部 千葉事業部

キャリアアップ措置の種別 種別 種別内容		対象となる派遣労働者の種別 種別 種別内容		項目	訓練内容 目的・効果 1人あたり年間平均実施時間（時間）				訓練の方法の別 種別	訓練費負担の別 種別	賃金支給の別 種別
1 入職時等基礎的訓練 2 職能別訓練 3 職種転換訓練 4 階層別訓練 5 その他の教育		1 雇入時 2 派遣中 3 待機中 4 入社●年目 （階層別訓練の場合のみ選択） 5 その他							1 OJT 2 OFF-JT	1 無償 （実費負担なし） 2 無償 （実費負担あり） 3 有償	1 有給 （無給部分なし） 2 無償 （無給部分あり） 3 無給
種別	具体的な教育訓練内容	種別	具体的な対象労働者		1年目	2年目	3年目	4年目	種別	種別	種別
1	入構者教育	1	全派遣労働者	訓練内容	基礎知識の説明 ・樹脂原料の説明 ・機能フィルムの説明 ・分析機器の説明 ・作業内容の説明 （分析機器の操作、 原料の運搬、製品の運搬）				2	1	1
				目的・効果	・作業担当者に必要な 基礎知識を習得してもらう。						
				時間数	16時間						
2	作業担当者研修	2	全派遣労働者	訓練内容	作業実習 ・作業現場を実際に見ながら、 製造工程について説明。 ・分析機器を実際に操作しながら、 操作方法を説明。 ・原料・製品の運搬作業を 実際に行いながら作業内容を 説明。	分析機器各種取り扱い講習 ・ガスクロマトグラフィー ・高速液体クロマトグラフィー ・赤外分光分析（IR） ・物性測定機 ・構造と原理・校正の意味と方法	分析対象物質講習 ・対象物質の化学的性質 ・対象物質の用途 ・対象物質の製造方法 ・対象物質の改良や用途拡大に 関する知識		1, 2	1	1
				目的・効果	・作業の目的・手順を教育し、 正しい作業手順で作業を遂行 してもらう。	・普段取り扱っている分析機器の 原理原則を知り、実作業訓練に よる分析値の安定によって、 作業精度を向上させる。	・普段取り扱っている物質の 基本的な理解を深めることによっ て、 改良による化学的性質の変化を 理解し、分析値だけでなく、知識を 背景にした分析の質向上を行う。				
				時間数	16時間	8時間	8時間				
4	階層別研修	4	入社2～4年目の派遣労働者	訓練内容	MQC手法研修 ・MQC活動の仕組みの説明 ・問題解決プロセスの習得の ための演習 ・MQC手法の説明	生産管理初級教育 ・生産の仕組みについての説明 ・生産管理の意義・目的・効果の 説明 ・作業管理の進め方の説明 ・IEの説明 ・品質管理の手法の説明 ・生産管理の社内事例の説明	MQCリーダー研修 ・リーダーの役割の説明 ・会合の進め方についての説明 ・QC手法の演習		2	1	1
				目的・効果	・MQCテキストを使用し、 品質管理とMQC活動についての 理解を深めることで、 作業管理能力を向上させる。	・生産の仕組み、管理、 作業管理の進め方などを 習得することで、業務管理・ 改善についての理解を深める。	・リーダーの役割、会合の進め方、 QC手法の演習などを行い、 リーダーシップを育成する。				
				時間数		14時間	14時間	14時間			
1人あたりの年間平均訓練時間					32時間	22時間	22時間	14時間			